

# たんぽぽだよい

令和7年8月  
田西市立子ども発達センター

No.6

- ④足を通します
- 始めは介助者がズボンの履き口を開きます。上げてほしい方の足を軽くタッチして「足あげて～」と声をかけて動作を促します。足を上げない時は、もみもみと刺激を与えて視線を足に向けてから、同様に声をかけて足を通していきましょう。

## ズボンを履いてみよう！③④

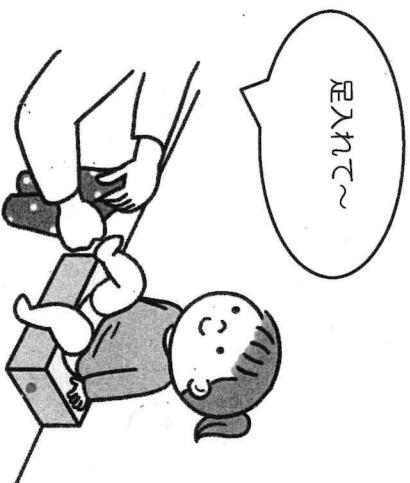
ズボンを履く前段階の取り掛かりや環境構成について前回お伝えしました。今回は、「①着替えることを知らせる、②座って行う」の続き、「③ズボンを見る④足を通す」についてお伝えします。ズボンを見ることで、着替えに意識を向けられるようにします。意識を向けることで、これから行う動作を促すだけでなく、自分の身体を知ることにも繋がります。お子さんのできるところを伸ばしながら、楽しくズボンを履いてみましょう。

### ③ズボンを見せます

お子さんを膝の上、イスや合に座らせたらズボンを見せ、「ズボン履くよ」と伝えます。この時にお子さんがズボンを見ているか、視線を確認します。ズボンを見ていらない時は、お子さんの視線の中にズボンを入れてみて下さい。

### 〈ポイント〉

- ・しつこく見せると嫌な活動になりますので、“必ず見せなければ！”と介助者が必死にならないようにします。介助者が必死になると、なぜか反する行動になる場合があります。私たちも強制されると抵抗したくなりますよね。
- ・目の前でひらひらと動かすと、“なんだろ～”と見てくれことがあります。楽しく着替えられる工夫ができると良いですね。
- ・周りに玩具があったり、テレビが付いていたりすると着替えに集中できません。お子さんが集中できるように周りの環境も整えると良いです。



### 「見る」がポイントです

いないいない  
ぱあっ！

